



文化学園リポジトリ

Academic Repository of BUNKA GAKUEN

服飾文化共同研究拠点／文化ファッション研究機構

Joint Research Center for Fashion and Clothing Culture / Bunka Fashion Research Institute

文化学園大学

Bunka Gakuen University

文化服装学院

Bunka Fashion College

文化ファッション大学院大学

Bunka Fashion Graduate University

文化外国語専門学校

Bunka Institute of Language

Title	『文化初級日本語 ・ テキスト 改訂版』の文型に対する魯美文化国際服装学院中国人教員の意識調査
Author(s)	刈谷, 仁美
Citation	文化外国語専門学校紀要 28 (2016) pp.1-26
Issue Date	2016
URL	http://hdl.handle.net/10457/2363
Rights	

『文化初級日本語 I・II テキスト 改訂版』 の文型に対する魯美文化国際服装学院 中国人教員の意識調査

日本語科 専任教授 刈谷 仁美

・要旨

本稿は 2012 年 9 月にスタートした魯美文化国際服装学院における日本語教育の概要と、日本語教育担当の中国人教師を対象とする『文化初級日本語 I・II テキスト 改訂版』に掲載されている全文型についての意識調査の結果をまとめたものである。調査の結果自体は何ら結論づけられる性格のものではなかったが、今後の『文化初級日本語 I・II テキスト 改訂版』の指導の在り方を考える上で示唆に富むものとなった。

・キーワード

『文化初級日本語 I・II テキスト 改訂版』、魯美文化国際服装学院、中国人教員、文型、意識調査、アンケート、教えにくさ

1. 魯美文化国際服装学院について

1-1. コースの概要

2012 年 9 月、中国遼寧省金石灘にある魯迅美術学院大連キャンパスにおいて、「中国において日本語が堪能で優秀なファッションクリエイターを養成する」ための魯迅美術学院と文化服装学院の日中合作コースとして魯美文化国際服装学院がスタートした。(以下本コースとする。) 1 年間の日本語学習を経て、1 年半中国の大学の必修科目の単位を取りながら、文化服装学院から派遣された教員による服飾造形の授業を日本語で受講し、その後、東京の文化服装学院に留学、引き続き日本語でファッション(服飾造形など)を 2 年間学習し、中国に帰国した後卒論及び卒業制作を行い卒業するというコースである。学習期間は合計 5 年で、卒業時には魯迅美術学院と文化服装学院の 2 つの卒業証書を取得できることとなっている。本稿は初めの 1 年の日本語予備教育の部分に関わるものである。2015 年 4 月時点で、3 学年分の学生が各 120 名程度在籍しており、初年度入学の学生は日本での学習をスタートさせるところである。

1-2. 日本語教育の概要

日本語の授業は 9 月から翌年 7 月上旬まで行われ、1 年間の授業数は 800 時間弱である。約 120 名の学生を 4、5 クラスに分け、入門レベルの日本語から指導する。当初の目標は「2 年時から始まる日本語による服装造形の授業が理解できる日本語力を身につける」という

ものであったが、現在は、それにプラスして日本に留学するための必須条件である日本語能力試験N2に合格するという目標も合わせて設定されつつあり、日本語教育の内容は現時点では流動的である。

2012年から2014年度までは、文化外国語専門学校で行われている日本語教育をベースとし、本コースの学生に合わせた調整を加えた内容で授業を行った。9月にひらがなの学習からスタートし、翌年の5月に初級の学習が終了し、残りの期間で『文化中級日本語Ⅰ』から抜粋した項目の学習や日本語能力試験対策などを行った。初級レベルでの使用教科書は、初年度と2013年度が『新文化初級日本語ⅠⅡ』（以下「新文化初級」とする）、2014年度が『文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ テキスト 改訂版』（以下「文化初級改訂版」とする）である。初級終了後の『文化中級日本語Ⅰ』の抜粋部分や日本語能力試験対策の教材は各年度の担当者が決定した。そのほかに、日本語を使ったスピーチや発表などの活動や服飾造形の授業に必要な語彙や表現も学習した。

授業は、基本的には直接法で行われることになっていたが、一部中国語の使用もあった。文化外国語専門学校での教授スタイルを基本とし、「読む・聞く・話す・書く」をバランスよく伸ばすことが目標として設定された。

1-3. 学生

入学試験や入学条件に日本語学習に関する項目はまったく含まれていないこともあり、ほぼ全員が日本語学習歴ゼロの状態での入学する。直接法の授業や、コミュニケーション重視の授業も本コースに入学して初めて体験する学生がほとんどである。日本のアニメーションやマンガ等を通し、日本語に関する知識を持っていたり、簡単な会話ができるという学生も一部存在する。日本語を集中的に学習することや、学習スタイルの違いから、スムーズに学習が進まない学生が少なくない。800時間程度の授業では日本語能力試験N2レベルに到達することはかなり困難で、本コースとは別に校外の塾などで日本語能力試験対策の日本語を学習する学生も存在した。

1-4. 教員

2014年度までは文化外国語専門学校から1年ずつ2名の日本人教員が本コース運営及び授業を担当するために赴任した。筆者は2013年度に赴任し、本コースに携わった。2012年9月のコース開始前後に5名、初年度の後期から2名、5月から2名の中国人教員が採用され、開始前後から在籍した教員が2013年度終了時、2014年度前期終了時にそれぞれ1名ずつ諸事情により退職した。中国人教員は全員日本語が堪能であり、それぞれ、大学もしくは大学院で日本語や日本語教育を専攻していた、日本語学校での教授経験がある、日本での留学経験が長く日本や日本人に対する理解が深い等の理由で採用された。しかしながら多くの中国人教員にとって、当初、文化外国語専門学校での授業をベースとした授業の進め方はなじみの薄いものであり、コース開始前、また始まってからも、研修及び日本人教員による指導を行う必要があった。また授業の注意点やポイントとするべき点、進め方なども

必要に応じ、事前に日本人教員から中国人教員に伝え、不明な点や疑問、自信がないところや確認したいことがあれば、日本人教員に相談できる体制が整えられた。

2. 魯美文化国際文化における『文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ』の授業を支える環境

2-1. 『文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ改訂版 指導例集』

2013年11月に出版された『文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ改訂版 教師用指導例集』（以下「文化初級指導例集」とする）は同年8月に出版された文化外国語専門学校オリジナル教科書『文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ テキスト 改訂版』の教師用参考書である。「文化初級指導例集」の作成メンバーで「文化初級改訂版」の各文型や本文の担当を決め、担当教員が行っている実際の授業を原案とし、その後作成メンバーによる検討を重ね指導例として形にしたもので、「文化初級改訂版」に掲載されているすべての文型と本文の指導例が掲載されている。実際の授業をもとにまとめられた指導例であるため、個々の指導例には、具体的な教師と学生とのやりとりの言葉がスクリプトの形で提示されている。さらに練習はどのように、また、どの程度行えばいいのか、授業でどのような教材、教具を用いればよいのか、板書はどのようにするのかなどに関しても、具体的に示されているため、初めて「文化初級改訂版」を使用する教師や、比較的経験の浅い教師でも、授業の進め方を具体的にイメージできるようになっている。

2012年の魯美文化国際服装学院開校時には出版に向けて作業中であったが、内容自体はすでに固まりつつある段階であったため、中国人教員に対しては、原稿段階の指導例を読んでよく準備をした上で授業に入るように日本人教員が指示した。実際、中国人教員は指導例に沿った形で授業を進めることとなった。なお2012年度、2013年度は「新文化初級」を使用していたため、「文化初級改訂版」における改訂箇所については対照表などを用い、「文化初級指導例集」が使えるようにすると共に、文型を指導する際に扱う用法の範囲が変更されたものなどについては留意するよう日本人教員から指示を出した。「文化初級改訂版」で文型から外れた「新文化初級」の一部文型については指導例がないため、授業担当の教師が指導案を作成した。

また、「文化初級指導例集」は文化外国語専門学校のように日本の学校の多国籍の学生が在籍しているクラスでの授業を前提としているため、本文や文型の導入や例文、練習の題材や内容が本コースの学生に合わない場合や、指導例の例文や練習では十分でないという場合もあった。その場合は授業担当の教員が新しい導入や例文、練習を考えたり、アレンジを加えたりする必要があった。

2-2. 教室の設備

文化外国語専門学校の教室では、ホワイトボードとプロジェクターに接続された書画カメラをメインに、必要に応じパソコンをプロジェクターにつなぎかえて使用している。レベルや授業内容によっても多少異なるが、書画カメラの使用頻度が最も高い。

本コースで使用される教室では電子白板が使われているが、この電子白板は授業中に書き込むことは仕様上難しく、現実には電子白板への書き込みはほとんどされていない。また電子白板に付属している書画カメラも反応が鈍く、授業での使用が限定されたため（投影しているプリントを動かすと、再び焦点が合うまで時間がかかる）、例文や練習の例などはあらかじめ授業の進行に合わせてパワーポイントファイルの形でまとめ、画像や動画と共にスクリーンに投影し、必要な場合は各教室にある小さなホワイトボードに板書をするという方法で授業を行い、プリント類も必要に応じて適宜印刷、配布している。

2-3. 授業見学

本コース開始時は、中国人教員の馴染みの薄い方法をとっていたため、授業の進め方への理解が十分とは言えない部分があった。そこで、日本人教員の授業を中国人教員に見学してもらい、授業の進め方や日本語を使っての学生とのコミュニケーションのとり方等への理解を深めてもらった。見学後は見学した教員からの疑問に授業担当者が答える時間を設けた。反対に中国人教員の授業を日本人教員が見学することも行われた。この授業見学の目的は、中国人教員の授業の進め方が適切か日本人教員の目により確認することで、適切とは言えない部分があった場合はそれを指摘し、改善方法を提案することにあった。そのために授業見学の後は毎回授業担当者とのセッションを持ち、疑問に思ったことや、こうしたほうが良いというアドバイスなど、授業について率直に感じたことを伝えた。中国人教員は授業見学に対しては自らの授業をよりよいものにするための一つの機会として肯定的にとらえていたようで、積極的に意見や疑問を述べてくれた。このようなセッションを重ねるうちに、筆者も彼らにとって何が難しいのか、やりにくいのか、また、彼らが難しい、やりにくいと感じる原因は何なのか疑問を持つようになった。

3. 「文化初級日本語」の文型に対する中国人教員の意識調査

本コースに勤務中、授業見学後のセッション以外でも中国人教員から日常的に日本語や授業のやり方について質問や相談を受けていた。その中には日本人教員と共通するものもあれば、異なる発想からのものもなどが混在していた。赴任期間終了後、筆者が本コースでの経験を振り返る中で、中国人教員にとってどのような項目がどのような理由で教えにくいのかを明らかにし、その結果を指導例や、経験の浅い教員への指導に生かすことができたらと思うようになった。そのための第一歩として、まず「文化初級改訂版」の全文型に関するアンケート形式の調査を中国人教員に行うこととした。

3-1. 調査方法

「文化初級改訂版」の文型一覧をもとにアンケートを作成し2014年の赴任教師を通して、メールで魯美文化の中国人教員に回答を依頼した。（資料1）

3-2. 調査項目

「文化初級改訂版」の全文型（資料2）に関し、以下の項目について下の図のようにチェックしてもらった。

	教えた	理解	教える難度	コメント
L21 文型3 ～たほうがいいです	✓	○	◎	

3-2-1. 「教えた」

本コースで該当文型を教えたことがあるかどうか、ある場合は「✓」、教えたかどうか記憶にない場合は「?」、教えたことがない場合は空欄にしてもらった。

3-2-2. 「理解」

該当文型に関する理解を自己評価してもらった。理解対象は「文化初級改訂版」における、文法を指導する際に扱う用法の範囲、文法規則、使われる場面等の言語知識とした。「十分理解している」は◎、「自信がない部分も若干あるが問題はない」が○、「わからない部分があり迷うことがある」が△、「大きな疑問がある」が×で答えてもらった。

3-2-3. 「教える難度」

教えてみてどうだったか、難しかったか、について答えてもらった。「問題なく教えられた」は◎、「問題はないが、難しい部分があった」は○、「難しかった。学生の理解に問題があった」は△、「教えて自分もしくは学生が混乱した」は×で答えてもらった。

3-2-4. 「コメント」

特に補足したいことがあれば書いてもらった。

3-3. 調査結果

3-3-1. 回答の状況

調査対象となる中国人教員7名中、回答があったのは4名で、4名の内訳は以下の通りである。

A先生	2012年9月より本コースで勤務
B先生	2012年9月より本コースで勤務
C先生	2013年3月より本コースで勤務
D先生	2013年3月より本コースで勤務

回答がなかった3名の中国人教員の内訳は以下の通り。

E先生	2012年9月より本コースで勤務。2015年7月に退職
F先生	2014年5月より本コースで勤務。
G先生	

7名の教員の中で、勤務歴が比較的長く今後も継続して勤務する予定の4名が協力してくれた。アンケートへの回答の依頼は強制ではなく、協力として行ったので、回答があった4名分を結果として扱うことにし、回答を促すことはしなかった。

3-3-2. 調査結果

「文化初級改訂版」の「生活の言葉」を含む全191文型に関して、4名の調査対象者から回答が得られた。以下、得られた回答を項目ごとにまとめたものである。

3-3-3. <教えた>

	✓	?	×
A先生	172	12	7
B先生	164	11	16
C先生	153	12	26
D先生	190	0	1

この項目に関しては、アンケート調査依頼時に大体の印象で答えてもらえばよいと指示したため、現実とは異なる場合もあるだろう。「?」がついた文型については、教えたことがあるかどうかははっきりしないという意味であるため、比較的印象が薄い文型ということができるかもしれない。とはいえ複数の回答者が「?」をつけた文型は26課文型3「後ですぐわかるように、中に入れたものの名前を書いておきます。」の1文型(2名が「?」)のみであった。「?」ではなく「×」を付けた文型は「教えたことがない」ことがはっきり認識されている文型であると言えるだろう。

3-3-4. <理解>

	◎	○	△	×	無記入
A先生	190	1	0	0	0
B先生	164	2	0	0	25
C先生	183	7	0	0	1
D先生	189	1	1	0	0

調査前の筆者の予想より「◎」が付いた文型が多く、全体の約95%の文型について、理解が十分であるという結果となった。筆者の赴任中の経験では、日常的に使われる場面や

指導すべき用法の範囲、文法規則などに関する質問を受けていたし、授業見学後のセッションにおいても使用場面などの相談を受けることがあったため、調査前には○と△の割合がもっと高いと予想していた。その後、経験を積んでいるうちに理解が十分であると感じるようになった可能性と、実際の授業や準備と切り離れた形で、「この文型を理解しているか」と聞かれると「十分理解している」という答えになる可能性が考えられる。

○や△の付いた文型は以下の通りである。

○	第6課	文型5	サッカーを見るのが好きです。
○	第9課	文型9	A：何か借りましたか。 B： <u>はい</u> 、着物の本を借りました。 <u>いいえ</u> 、何も借りませんでした。
△	第18課	文型6	弟は野球を見に行く <u>と言っていました</u> 。
○	第20課	文型4	進学説明会に行けば、いろいろな学校の先生と話せます。
○	第22課	文型6	ワンさんはネックレスをほしがって <u>いました</u> 。 ワンさんは生け花を習いたが <u>っていました</u> 。
○	第25課		自動詞と他動詞
○	第27課	文型2	間に合わなければ来月に <u>しましょう</u> 。
○	第28課	文型5	・良子：明日、銀河亭で待ち合わせを <u>しましょう</u> 。 武： <u>その店</u> はどこにあるの？ ・良子：明日、新宿の東口で待ち合わせを <u>しましょう</u> 。 武： <u>あそこ</u> は人多すぎるから、別の所に <u>しようよ</u> 。
○	第31課	文型1	最近、忙しい <u>ようです</u> 。/ <u>みたいです</u> 。
○	第32課	文型2	歌手の <u>ようです</u> 。/ <u>みたいです</u> 。 紙の <u>ように</u> / <u>みたいに</u> 薄い <u>です</u> 。
○	第34課	文型2	クラブに入る <u>なら</u> 、見学してから決めたほうが <u>いいです</u> 。

○や△がついた文型が合計11文型と少ないため、この項目の調査結果から何かを結論づけるのは難しい。マークされた文型については「『～と言いました』との違いが微妙にわからない」（第18課文型6）、「『～たら』と区別できない」（第20課文型4）「自分が普段の生活で使う時、間違えることがある。無意識に使う」（第28課文型5）「『～ば』と区別できない。中国語の意味は同じ」（第34課文型2）等の理解と関連すると思われるコメントがあった。

3-3-5. <教える難度>

	◎	○	△	×	無記入
A先生	168	16	0	0	7
B先生	164	2	0	0	25
C先生	127	15	13	0	36
D先生	188	3	0	0	0

教えたことがない項目について無記入とした人、教えたことがなくてもマークした人など、回答基準にばらつきがあったようだ。「理解」と比較すると、○や△がついた項目が多かった。○や△がついた項目は以下の通り。

○	第6課	文型2	ビール <u>か</u> ワインを飲みます。
○*		文型7	私はサッカーを見る <u>の</u> が好きです。
○	第8課	文型6	昼は <u>ち</u> ちょっと暑かったですが、朝と夜は <u>あ</u> あまり暑くありませんでした。
○	第9課	文型8	24日 <u>ま</u> までに返してください。
○*		文型9	A: <u>何</u> か借りましたか。 B: はい、 <u>着</u> 物の本を借りました。 <u>い</u> いえ、 <u>何</u> も借 <u>り</u> ませ <u>ん</u> でした。
○*	第10課	文型1	新宿で電車に <u>乗</u> ります。
○	第15課	文型1	A: 中野と新中野とどちら (のほう) が <u>に</u> ぎやかですか。 B: 中野のほう <u>が</u> (新中野より) 近いです。
○		文型5	A: 中野と三鷹と池袋の部屋の中で、 <u>ど</u> れが <u>い</u> ちばん静かですか。 B: 中野の部屋が <u>い</u> ちばん静かです。
○		文型8	この部屋は <u>三</u> つの部屋の中で <u>い</u> ちばん新しいです。
○	第16課	文型1	ひざを打 <u>つ</u> たんです。
○		文型5	治るまで激しい運動を <u>し</u> ないでください。
○	第17課	文型2	<u>中</u> 国人で日本語が話せる方は、お電話ください。
△		文型5	A: 1週間に <u>ど</u> の <u>ぐ</u> らい来られますか。 B: 3日 <u>ぐ</u> らいです。
△		文型6	アルバイトの方も使う <u>こ</u> とができます。 ここで <u>た</u> ばこを吸う <u>こ</u> とはできません。
△	第18課	文型6	弟は野球を見に行く <u>と</u> 言っていました。
○	第19課	文型2	少し <u>短</u> く <u>し</u> てください。
△		文型4	私が試着している <u>間</u> 、ここで待っていてください。 私が試着している <u>間</u> に、いなくなりました。

○*	第19課	文型6	ここを <u>まっすぐ行く</u> と、エスカレーターがございます。
△	第20課	文型4	進学説明会に <u>行けば</u> 、いろいろな学校の先生と話せます。
△		文型6	ふじ観光専門学校という学校を知っていますか。
○		文型7	実技試験を <u>うけなくては</u> いけません。
○	第21課	文型2	靴を <u>脱がない</u> でうちに上がってはいけません。
△		文型6	少し <u>しか</u> とれません。
○	第22課	文型3	前から <u>あんなのが</u> ほしいと思っていたんです。
○*		文型6	ワンさんはネックレスを <u>ほしが</u> っていました。 ワンさんは生け花を <u>習いたが</u> っていました。
○	第23課	文型2	たくさんの方が電子書籍を読むようになりました。
○		文型3	前はよく紙の本を読みましたが、最近 <u>は読まなくなり</u> ました。
○	第24課	文型1	親しい友達との会話1
○		文型2	親しい友達との会話2
		文型3	親しい友達との会話3
△	第27課	文型2	<u>間に合わなければ</u> 来月にしましょう。
○	第28課	文型1	マリーさんが(私に)英語を <u>教えて</u> くれました。
○		文型4	(私は)武さんに <u>おいしいもの</u> をごちそう <u>してあげ</u> ます。
○	第29課	文型2	入院したと聞いて <u>心配</u> しました。 最近、 <u>夜寝られなくて</u> 困っています。
○		文型3	西田先生が(私に)花を <u>くださ</u> いました。 (私は)西田先生に花を <u>いただき</u> ました。
○*		文型4	先生の奥さんが洗濯を <u>してく</u> さいました。 先生の奥さんに洗濯を <u>して</u> いただきました。
○		文型5	いろいろな人と日本語で話す <u>よう</u> にしています。
△	第30課	文型2	<u>お待ち</u> ください。
△		文型3	<u>お借り</u> します。
△		文型4	ナプキンを取っていただけませんか。
△	第31課	文型1	最近、 <u>忙しい</u> ようです。/ <u>みたいです</u> 。
○		文型4	駅に <u>ついたら</u> 、もう人がおおぜいいました。
○	第33課	文型1	毎日練習ばかり <u>して</u> いました。
△	第34課	文型2	クラブに入る <u>なら</u> 、見学してから決めたほうがいいです。

全191文型の中で44文型に○または△が付けられた。44文型のうち*のついた6文型には複数人から○が付けられた。

3-4. 「教える難度」調査結果のカテゴリー分けの試み

○または△がついた44文型のカテゴリー分けを試みてみた。分けるに際しては各文型へのコメント等を参考にした。コメントは学生の視点に立って書かれたものが多く、学生の負担が大きいことや学生が理解しにくいことが、中国人教員には教える難度が高いと感じられていると読み取ることができる。

a：一言で説明できるもの（第6課文型2、第9課文型8など）

「学生は理解したが、中国語の意味は○○かと聞かれた」「中国語で一言で説明できる文型は日本語で45分使うと混乱する」などのコメントがあった。

本コースの授業は直接法で行う前提であったが、状況を設定し日本語でやり取りしながら文型を導入するという方法が、文型によってはまどろっこしいものであると推測される。

b：文法上は必要だが、具体的な意味がない、もしくはつかみにくい文型（第6課文型2、文型9など）

形式名詞の「の」などそれ自体には具体的な意味がない文型は本コースの学生のように語学学習経験が乏しい学習者には理解しにくい部分がありそうだ。

c：助詞がポイントとなる文型、助詞にもポイントがある文型（第8課文型6、第9課文型9、第10課文型1、第28課文型1など）

「指導書通りに説明したが、学生のほうはちょっと理解しにくい表情をしていた。それで理解するまで何度か繰り返した印象がある」「助詞が多くて、意味も多い。疑問詞といっしょに使うと、どちらかを忘れてたり、間違えたりする」（第9課文型9へのコメント）などのコメントがあった。前半部分にマークされた文型が多かったが、第28課文型1のように助詞の使い方が一見複雑に見えるものは後半に掲載された文型であってもマークされている。

d：文が長い文型（第8課文型6、第15課文型1、文型5など）

「文法はそんなに難しくないが、読むときや書くときは、文が長くなって忘れてしまう」（第15課文型1へのコメント）などのコメントがあった。初級前半では例文が長いということ自体が学生の負担になることが推測される。

e：語彙が多いもの（第10課文型1、第17課文型5など）

「新出語彙が多すぎ、助詞もたくさんあり、学生が覚えられなくて混乱すると思う」（第10課文型1へのコメント）、「『どのぐらい』は大丈夫。前の『1年間、3週間、半年…』などの数量詞を覚えるのが難しい」などのコメントがあった。覚えなくてはいけない項目が多ければ学生の負担が大きくなり教えるに感じてしまうのだろう。

f：ほかに形が似ている文型があるもの（第20課文型7、第21課文型2など）

「その場では問題がなかったが、その後『ないで』と『なくて』といっしょに練習したら多少混乱があった。説明したら、すぐわかってくれた」（第21課文型2へのコメント）などのコメントがあった。

g：いわゆる「とばたらなら」を含むもの（第19課文型6、第27文型2など）

区別しにくいというコメントがあった。

h：形が難しいもの、複雑なもの（第19課文型2、第30課文型2、文型3など）

「い形容詞」と「な形容詞」の活用を同時に扱うものや、敬語のように特別な動詞と、そうでない動詞の形を同時に学ぶ必要があるものは難しいと感じるようだ。

i：敬語表現（第29課文型3、文型4、第30課文型4など）

「意味は同じなのに」というコメントがあった。

j：段階的に提出されているもの（第17課文型2）

「前の名詞修飾とまとめて教えたほうが良いと思う」というコメントがあった。

このほかにも「理由はわからないがなんだか難しい」「簡単そうだが意外に難しい」というコメントがついた文型（第20課文型6、第21課文型6、第31課文型1）もあり興味深い。コメントがなくカテゴリー分けできなかった文型もあるので、今後機会があれば、さらにインタビューなどして詳しく調べていきたい。

4. おわりに

文型の理解に関しては、日本人教員と中国人教員の間には異なる部分もあると思われるが、本コースのように同じ教え方をベースにしている場合、「教え方の難度」の意識に関しては、日本人と中国人教員に共通する部分が予想していたより大きいという印象を持った。今後は比較的験の浅い日本人教員との比較のための調査もしてみたい。また、今回の調査を通し、「教えるににくい」と感じる理由をさらに考えていくことで、より効率的で学生にとって負担が少ない教え方や文型の提出順、指導方法の改善へのヒントが得られるという感触を得た。今後はさらに調査を進めることで実際の授業に役立てるような成果を得たいと考えている。

また本コースに関しては、2015年度より、カリキュラムの中で日本語能力試験関連の教材を扱う部分が諸事情により大幅に増え、「文化初級改訂版」の授業のあり方も中国語の使用を増やし、導入や練習に費やす時間を減らすように変わることになった。この変化を経て教員の意識がどのように変化するのかにも注意していきたい。

本調査に協力してくださった、羅北辰先生、朴占玉先生、張麗麗先生、寧先誉先生、またアンケート調査を仲介してくださった本学の平川奈津子先生に深く感謝の意を捧げ、本論を終わりとしたい。

参考文献

『新文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ』

『文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ テキスト 改訂版』

『文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ改訂版 教師用指導例集』

「『文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ改訂版 教師用指導例集』（PDF収録）作成報告」文化外国語専門学校起用第27号

資料

資料1：依頼文書とアンケート

資料2：『文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ テキスト 改訂版』より文型意味一覧

資料1：依頼文書とアンケート

みなさま

みなさま、お元気ですか？ きっと元気に授業を頑張っていることと思います。魯美では大変お世話になりました。本当にありがとうございました。また、いろいろと至らないところがあり申し訳なく思っています。もうずいぶん昔のことにように思われますが、1年前は魯美で教えていたんですね～。みなさんも2年目、3年目となり余裕の授業ができていないんじゃないかなあとと思います。魯美の1年目の学生も無事こちらに来ているようです。

ところでみなさんにお願いがあります。東京の文化外国語専門学校では毎年紀要を出しています。ここ数年はオンライン版になっているので文化学園のホームページから見ることができます。（今までのものや新文化の教科書に関するものもあるのでお時間があるときに興味のある人は見てみてください。）今年順番で私が紀要に論文を書くことになりました。何を書こうかいろいろ考えたのですが、みなさんが文化初級ⅠⅡの文型についてどう感じたか、教えてみてどうだったかをまとめたらおもしろいんじゃないかなあと思いつきました。それでみなさんに協力をお願いしたいです。強制ではありませんが、ぜひ協力してください。

<論文の概要>

文化初級の各文型に関する簡単なアンケートを実施（魯美の先生方）

↓

教えるにくいと意識されている文型はあるか その理由は何か、を知ることを目的にアンケートをまとめる

↓

必要であればメール等で追加調査

↓

結果の分析 提案等

<アンケート：回答の仕方>

個人名は出しませんし、個人の評価等にもまったく無関係なので、率直お答えください。ただ、今後追加で質問したい場合があるかもしれないので、記名をお願いします。わからないところは無理に考えたり思い出しなくてもOKです。「？」と記入してください。あまり時間を使って考えず、頭に浮かんだものを書いてください。

○各項目について

「教えた」

魯美の授業で教えた記憶があるものは「✓」、分からないものは「?」、教えた記憶がないものには「×」を記入してください。過去のスケジュール等を調べたりする必要はありません。

「理解」

文型についての理解について教えてください。

文型の理解とは文化初級ⅠⅡで扱われている意味（の範囲）、使い方、形を理解していることを指します。

◎十分理解している

○自信がない部分も若干あるが理解に問題はない

△わからない部分があり迷うことがある／あった

×全体的によくわからない

例) 助詞がよくわからない→△

過去形も使えるかどうかわからなかった→△

～との違いがわからない→△

～との違いの説明を指導書で読めば理解できるが、なんとなく納得できない部分がある→○

その文型で使えない動詞は指導書を見ればわかるが、使えない理由はわからない→○～△

結局のところどんな時にどのように使うか自分ではわからない→×

なぜこの文型を勉強しなければならないかわからない→×～△

学生に形に関して質問されたが、その場ではわからず答えられなかった→△

「教える難度」

教えてみてどうだったか、難しかったかに関する項目です。教えたことがあるものに関しては、その経験をもとに、そうでないものに関しては教えることを想定して答えてください。

◎問題なく教えられた

○問題はないが、難しい部分もあった

△難しかった。問題があった。

×自分または学生が授業で混乱した

例) 学生は意味と形は理解したが、使い方はよくわからなかったと思う→△

おおむね大丈夫だったが、練習の場面の選択が難しく、いくつかはわかりにくかったようだ→○

授業の後で、結局中国語で意味は何かと聞かれた→×～△

順調に授業は進んだが、学生が十分に理解している感じがしなかった→○

導入はうまくできたと思ったが、練習に入ると混乱してしまった。→×～△

「コメント」

補足説明や文型を教えて特に残った印象などあれば書いてください。特になければ空欄のままでOKです。

*○△×で迷うことがあると思いますが、おおよその目安なので、自分の感覚で判断してください。(すぐ迷った時はコメント欄にその旨記入してください) また、具体的にわからない点がある文型については疑問をコメント欄に書いていただければできる範囲でお答えします。

*質問があれば刈谷までメールをお願いします。

		＜名前＞				
課	文型番号	文例	教えた	理解	教える難度	コメント
生活の言葉	1	あいさつ				
生活の言葉	2	教				
生活の言葉	3	買い物				
生活の言葉	4	時間／～月～日／曜日				
L1	文1	私はワン・ジュミンです。				
L1	文2	A: ワンさんは学生ですか。B: はい、学生です。A: ワンさんは会社員ですか。B: いいえ、学生です。				
L1	文3	文化音楽大学の学生です。				
L1	文4	A: 授業は何時からですか。B: 9時10分からです。A: 何時までですか。B: 2時50分までです。				
L1	文5	A: 休みはいつですか。B: 日曜日です				
L1	文6	A: 休みはいつですか。B: 土曜日と日曜日です				
L2	動詞					
L2	文1	A: 何を飲みますか。B: コーヒーを飲みます。				
L2	文2	A: たばこを吸いますか。B: はい、吸います。いいえ、吸いません。				
L2	文3	A: どこへ行きますか。B: 学校へ行きます。				
L2	文4	A: どこで勉強をしますか。B: 学校で勉強をします。				
L2	文5	A: 何時に起きますか。B: 7時半に起きます。A: いったいコーヒーを飲みますか。B: 朝、飲みます。				
L2	文6	見ました。見ませんでした。				
L3	物の名前					
L3	文1	A: ボールペンですか。B: はい、ボールペンです。/ いいえ、ボールペンじゃありません。シャープペンです。				
L3	文2	A: 誰の教科書ですか。B: 私の教科書です。/ 私の。				
L3	文3	これ/それ/あれは私の教科書です。				
L3	文4	それも私のです。				
L4	い形容詞					
L4	な形容詞					
L4	文1	広い部屋です。元気な子供です。				
L4	文2	A: チンさんの部屋は広いですか。B: はい、広いです。いいえ、広くありません。				
L4	文3	A: マリーさんの部屋はきれいですか。B: はい、きれいです。いいえ、きれいじゃありません。				
L4	文4	このかばん/そのかばん/あのかばんはマリーさんのです。				
L4	文5	チンさんのかばんはどれですか。				
L4	文6	A: チンさんのかばんはどれですか。B: その黒いのです。				
L5	位置を表す言葉					
L5	文1	テーブルの上にキーとコーヒーがあります。車の後ろに男の子がいます。				
L5	文2	駅のそばにスーパーやコンビニ(など)があります。				

課	文型番号	文例	教えた	理解	教える難度	コメント
L5	文3	A: テーブルの上に何がありますか。B: ケーキとコーヒーがあります。/ A: リーさんの隣に誰がいますか。B: マリーさんがあります。/ A: 箱の中に何がいますか。B: 猫がいます。				
L5	文4	A: お手洗いはどこにありますか。/ どこですか。B: お手洗いはあそこにあります。/ あそこです。				
L6	文1	A: よくお酒を飲みますか。B: はい、よく飲みます。いいえ、あまり飲みません。いいえ、ぜんぜん飲みません。				
L6	文2	ビールかワインを飲みます。				
L6	文3	私はコメディイが好きです。				
L6	文4	A: どんな映画が好きですか。B: 私はコメディイが好きです。				
L6	文5	映画館では見ません。うちで見ます。				
L6	文6	動詞 辞書形				
L6	文7	私はサッカーを見るのが好きです。				
L7	文1	時の言い方				
L7	文2	郵便局へ行きました。それから、うちへ帰りました。				
L7	文3	部屋の中を探しました。でも、ありませんでした。				
L7	文4	A: どんな財布ですか。B: 黒くて小さい財布です。				
L7	文5	お金だけです。				
L7	文6	チンさんにお金を借ります。ラフルさんにお金を貸します。				
L8	文1	A: 何日間/どのぐらいですか。B: 1週間です。				
L8	文2	A: どうでしたか。B: 楽しかったです。/ 楽しくありませんでした。				
L8	文3	大変でした。/ 大変じゃありませんでした。				
L8	文4	いい天気でした。/ いい天気じゃありませんでした。				
L8	文5	少し疲れましたが、楽しかったです。				
L8	文6	昼はよっと暑かったです。朝と夜はあまり暑くありませんでした。				
L8	文7	パイナップルは安くておいしかったです。				
L8	文8	魚も新鮮でおいしかったです。				
L9	文1	動詞 て形				
L9	文2	よく聞いてください。				
L9	文3	大きい声で話してはいけません。				
L9	文4	飲み物を持って行ってもいいですか。				
L9	文5	本の探し方を説明します。				
L9	文6	本の名前を入れて、ここを押してください。				
L9	文7	本を取りましょうか。				
L9	文8	24日までに返してください。				
L9	文9	A: 何か借りましたか。B: はい、着物の本を借りました。/ いいえ、何も借りませんでした。 A: 昨日、どこかへ行きましたか。B: はい、渋谷へ行きました。/ いいえ、どこへも行きませんでした。 A: 財布はどこかにありましたか。B: はい、うちにありました。/ いいえ、どこにもありませんでした。				
L10	文1	新宿で電車に乗ります。				

課	文型番号	文例	教えた	理解	教える難度	コメント
L10	文2	林さんは、今、電話をしています。				
L10	文3	コーヒを飲みながら話しています。				
L11	文2	高校を卒業してから会社に勤めていました。				
L11	文3	日本へファッションの勉強をしに来ました。				
L11	文4	ファッションショーに行きます。				
L11	文5	友達とファッションショーに行きます。				
L11	文6	デザイン勉強をしたいと思います。				
L11	文7	A:もう学校を決めましたか。 B:はい、もう決めました。/いいえ、まだ決めていません。				
L12	文1	フライパンで牛丼を作ります。				
L12	文2	たまねぎを薄く切ります。自由に使ってください。				
L12	文3	基本体 動詞(現在)				
L12	文4	固くなります。				
L12	文5	薄切りの牛肉を長く煮ると、固くなります。				
L13	文1	私は日本語学校で勉強している学生です。				
L13	文2	基本体 い形容詞・な形容詞・名詞(現在)				
L13	文3	友達ができましたから、楽しいです。				
L13	文4	A:どうですか。 B:レポートが多いからです。				
L13	文5	暇な時は、何をしますか。				
L13	文6	A:この学校の施設をどう思いますか。 B:図書館や食堂が新しいからいいと思います。				
L14	文1	基本体(過去)				
L14	文2	休憩時間が短かったので、私はバスを降りなかった。				
L14	文3	魚は食べにくかった。				
L14	文4	花のスケッチをしたり、植物園の人にいろいろ質問したりした。				
L15	文1	A:中野と新中野とどちら(のほう)が近いですか。 B:中野のほうが(新中野より)近いです。				
L15	文2	A:中野と新中野とどちらのほうがにぎやかですか。 B:中野のほうがずっとにぎやかです。				
L15	文3	A:中野と新中野とどちらのほうが近いですか。 B:どちらも同じくらいです。				
L15	文4	このアパートは駅から遠すぎます。				
L15	文5	A:中野と三鷹と池袋の部屋の中で、どれがいちばん静かですか。 B:中野の部屋がいちばん静かです。				
L15	文6	この部屋は台所が広いです。				
L15	文7	この部屋は三鷹の部屋より駅から近いです。				
L15	文8	この部屋はみつの部屋のなかでいちばん新しいです。				
L16	文1	ひざを打ったんです。				

課	文型番号	文例	教えた	理解	教える難度	コメント
L16	文2	A: まだ痛いですが B: はい、まだ痛いんです。いいえ、もう痛みありません。				
L16	文3	もう少しかかるかもしれません。				
L16	文4	激しい運動をしないでください。				
L16	文5	治るまで、激しい運動をしないでください。				
L16	文6	わからないことはありませんか。				
L16	文7	寝る前に、ほりかえてください。 ごはんを食べた後(で)、飲んでください。				
L17	文1	ピアノが弾けます。				
L17	文2	中国人で日本語が話せる方は、お電話ください。				
L17	文3	A: 演奏の仕事をしたことがありますか。 B: はい、あります。/ いいえ、ありません。				
L17	文4	学校が忙しくてあまり行きません。				
L17	文5	A: 1週間どのぐらい来られますか。 B: 3日ぐらいです。				
L17	文6	アルバイトの方も使うことができます。 ここではこを吸うことはできません。				
L18	文1	A: ドライプに行きませんか。B: いいですね。				
L18	文2	新しい車を買ったんですが、ドライプに行きませんか。				
L18	文3	A: どこへ行きましょうか。 B: 良子さんの好きな所へ行きましょう。				
L18	文4	天気予報によると明日は晴れそうです。				
L18	文5	A: 明日は暑いでしょうか。 B: たぶん暑いだろうと思います。				
L18	文6	弟は野球を見に行くと言っていました。				
L19	文1	(このをジーパン)をはいてみます。				
L19	文2	少し短くしてください。				
L19	文3	子供がいなくなりました。				
L19	文4	(1)私が試着している間、ここで待っていてください。 (2)私が試着している間に、いなくなりました。				
L19	文5	赤いTシャツを着ています。				
L19	文6	ここをまっすぐ行くと、エスカレーターがございます。				
L20	文1	経営学の勉強をしようと思っています。				
L20	文2	東都大学を受けるつもりです。				
L20	文3	観光の勉強をするために、専門学校に行きます。				
L20	文4	進学説明会に行けば、いろいろな学校の先生と話せます。				
L20	文5	A: 良子さんの電話番号を知っていますか。 B: はい、知っています。いいえ、知りません。				
L20	文6	ふじ観光専門学校という学校を知っていますか。				
L20	文7	実技試験を受けなくてはいけません。				

課	文型番号	文例	教えた	理解	教える難度	コメント
L20	文8	どんな問題が出たかわかりません。面接試験があるかどうかわかりません。				
L21	文1	ホストファミリーに会ったら、笑顔であいさつしましょう。				
L21	文2	靴を脱がないでうちに上がってはいけません。				
L21	文3	家族と積極的に話したほうがいいです。				
L21	文4	嫌いな物は無理に食べなくてもいいです。				
L21	文5	これはお父さんが作ったマットです。				
L21	文6	少ししかとれません。				
L22	文1	涼そうです。涼しくなさそうです。簡単そうです。簡単じゃなさそうです。／ではなさそうです。				
L22	文2	雨が降りそうです。				
L22	文3	前からあんなのがほしいと思います。				
L22	文4	私は友達にプレゼントをあげます。				
L22	文5	私は友達にコーヒーカップをもらいました。				
L22	文6	ワンはネットドレスをほしがっていました。ワンは生け花を習っていました。				
L22	文7	買ったんじゃないかと、もらったんです。				
L23	文1	電子書籍が増えました。				
L23	文2	たくさんの方が電子書籍を読むようになりました。				
L23	文3	前はよく紙の本を読みました。最近では読まなくなりました。				
L23	文4	紙の本は、デザインがきれいだし、大きさもいろいろあるし、見るのが楽しいです。				
L24	文1	親しい友達との会話 1				
L24	文2	親しい友達との会話 2				
L24	文3	親しい友達との会話 3				
L24	文4	友達が(私に)映画の招待券をくれました。				
L24	文5	行きたいけど、土曜日はアルバイトがあるの。				
L25	自動詞と他動詞					
L25	文1	(ボタンを)押しても出ないんです。				
L26	文1	壁が汚れています。				
L26	文2	郵便局に転居届を出しておきます。				
L26	文3	後ですぐわかるように、中に入れた物の名前を書いておきます。				
L26	文4	中身を入れたまま運ぶと危ないです。				
L27	文1	どちらでもいいです。				
L27	文2	間に合わなければ来月にしましょう。				
L27	文3	ちょうど今、受付が始まるので				
L27	文4	座れそうです。座れそうにありません。				
L27	文5	もう読んでしまいました。				
L28	文1	マリーさんが(私に)英語を教えてくださいました。				

課	文型番号	文例	教えた	理解	教える難度	コメント
L28	文2	良子さんのうちへ行く時、ケーキを買いました。 良子さんのうちへ行った時、片付けを手伝いました。				
L28	文3	(私は)武さんに引越を手伝ってもらいました				
L28	文4	(私は)武さんにおいしい物をさそいであげます。				
L28	文5	良子: 明日、銀河亭で待ち合わせしましょう。武: その店はどこにあるの? 良子: 明日、新宿の東口で待ち合わせしましょう。武: あそこは人が多すぎるから、別の所にしようよ。				
L29	文1	今、終わったところです				
L29	文2	入院したと聞いて心配しました。最近、夜寝られなくて困っています。				
L29	文3	西田先生が(私に)花をくださいました。(私は)西田先生に花をいただきました。				
L29	文4	先生の興さんが洗濯をしてくださいます。先生の興さんに洗濯をさせていただきました				
L29	文5	いろいろな人と日本語で話すようにしています				
L30	文1	タイへいらっしゃるんですか。				
L30	文2	お待ちください。				
L30	文3	お借りします。				
L30	文4	ナプキンを取っていただけませんか。				
L31	文1	最近、忙しいよう/みたいです。				
L31	文2	お祭りを見に行くことにしました。				
L31	文3	せつかく誘ってもらったのに、行けませんでした。				
L31	文4	駅に着いたら、もう人がおおいいます。				
L31	文5	後ろの人に押されました。				
L32	文1	インスタントラーメンは1958年に日本で初めて作られました。				
L32	文2	歌手のよう/みたいです。紙のよう/みたいに薄いです。				
L32	文3	カップの検査をしているところです。				
L33	文1	毎日練習ばかりしていました。				
L33	文2	広美に家の手伝いをさせました。				
L33	文3	就職したらどうですか。				
L34	文1	新入生は先輩にいろいろなことをさせられます。				
L34	文2	クラブに入るなら、見学してから決めたいほうがいいですよ。				
L34	文3	冷やがあります。				

資料2：『文化初級日本語Ⅰ・Ⅱ テキスト 改訂版』より文型意味一覧

課	文型番号	文例	意味の部分の記述(赤い文字は2013年7月25日に変更したもの)
			意味の部分の記述(赤い文字は2013年7月25日に変更したもの)
			基本的なあいさつの表現
	1	あいさつ	
	2	教	
	3	買い物	
	4	時間／～月～日／曜日	
L1	文1	私はワン・シューミンです。	
L1	文2	A: ワンさんは学生ですか。B: はい、学生です。A: ワンさんは会社員ですか。B: いいえ、学生です。	
L1	文3	文化音楽大学の学生です。	
L1	文4	A: 授業は何時からですか。B: 9時10分からです。A: 何時までですか。B: 2時50分までです。	
L1	文5	A: 休みはいつですか。B: 日曜日です	
L1	文6	A: 休みはいつですか。B: 土曜日と日曜日です	
L2	動詞		
L2	文1	A: 何を飲みますか。B: コーヒーを飲みます。	
L2	文2	A: たばこを吸いますか。B: はい、吸います。いいえ、吸いません。	
L2	文3	A: どこへ行きますか。B: 学校へ行きます。	
L2	文4	A: どこで勉強をしますか。B: 学校で勉強をします。	
L2	文5	A: 何時に起きますか。B: 7時半に起きます。A: いつコーヒーを飲みますか。B: 朝、飲みます。	
L2	文6	見ました。見ませんでした。	
L3	物の名前		
L3	文1	A: ボールペンですか。B: はい、ボールペンです。／いいえ、ボールペンじゃありません。シャーペンです。	
L3	文2	A: 誰の教科書ですか。B: 私の教科書です。／私のです。	
L3	文3	これ／それ／あれは私の教科書です。	
L3	文4	それも私のです。	
L4	い形容詞		
L4	な形容詞		
L4	文1	広い部屋です。元気な子供です。	
L4	文2	A: チンさんの部屋は広いですか。B: はい、広いです。いいえ、広くありません。	
L4	文3	A: マリーさんの部屋はきれいですか。B: はい、きれいです。いいえ、きれいじゃありません。	
L4	文4	このかばん／そのかばん／あのかばんはマリーさんのです。	
L4	文5	チンさんのかばんはどれですか。	
L4	文6	A: チンさんのかばんはどれですか。B: その黒いのです。	
L5	位置を表す言葉		
L5	文1	テーブルの上にキーとコーヒーがあります。車の後ろに男の子がいます。	
L5	文2	駅のそばにスーパーやコンビニ(など)があります。	
L5	文3	A: テーブルの上に何がありますか。B: キーとコーヒーがあります。／A: リーさんの隣に誰がいますか。B: マリーさんがいます。／A: 箱の中に何がいますか。B: 猫がいます。	
L5	文4	A: お手洗いはどこにありますか。／どこですか。B: お手洗いはあそこにあります。／あそこです。	

L6	文1	A:よくお酒を飲みますか。B:はい、よく飲みます。いいえ、あまり飲みません。いいえ、ぜんぜん飲みません。	頻度を表す副詞
L6	文2	ビールかワインを飲みます。	2つのうちどちらか一方であることを表す助詞「か」
L6	文3	私はコメディイが好きです。	な形容詞「好き」
L6	文4	A:どんな映画が好きですか。B:私はコメディイが好きです。	種類や特徴を尋ねる疑問詞「どんな」
L6	文5	映画館では見ません。うちで見ます。	ある部分を取り立てて否定する表現
L6	文6	動詞 辞書形	動詞のグループと辞書形の作り方
L6	文7	私はサッカーを見るのが好きです。	形式名詞「の」(〜のが好き)
L7	文1	時の言い方	時を表す基本的な言葉
L7	文2	郵便局へ行きました。それから、うちへ帰りました。	出来事の順序を表す接続詞「それから」
L7	文3	部屋の中を探しました。でも、ありませんでした。	逆接の接続詞「でも」
L7	文4	A:どんな財布ですか。B:黒くて小さい財布です。	形容詞2つで名詞を修飾する形
L7	文5	お金だけです。	限定の意味を表す「〜だけ」
L7	文6	チンさんにお金を借ります。ラフルさんにお金を貸します。	動詞「貸す／借りる」
L8	文1	A:何日間／どのぐらいですか。B:1週間です。	期間の言い方と期間を尋ねる表現
L8	文2	A:どうでしたか。B:楽しかったです。／楽しくありませんでした。	過去の出来事の様子や感想を尋ねる表現「どうでしたか」と「い形容詞」の過去
L8	文3	大変でした。／大変じゃありませんでした。	「な形容詞」の過去
L8	文4	いい天気でした。／いい天気じゃありませんでした。	名詞の過去
L8	文5	少し疲れましたが、楽しかったです。	逆接の助詞「が」
L8	文6	昼はちょっと暑かったです。朝と夜はあまり暑くありませんでした。	対比を表す助詞「は」
L8	文7	パイナップルは安くっておいしかったです。	形容詞と形容詞の接続(現在、過去)
L8	文8	魚も新鮮でおいしかったです。	累加の助詞「も」2(いろいろな形)
L9	文1	動詞 て形	「て形」の作り方
L9	文2	よく聞いてください。	指示や依頼を表す表現「〜てください」
L9	文3	大きい声で話してはいけません。	禁止を表す表現「〜てはいけません」
L9	文4	飲み物を持って行ってもいいですか。	許可を求める表現「〜てもいいですか」
L9	文5	本の探し方を説明します。	方法を表す「〜方」
L9	文6	本の名前を入れて、ここを押してください。	手順や行為の順序を表す「〜て」
L9	文7	本を取りましょうか。	ある行為をすることを申し出る表現「〜ましょうか」
L9	文8	24日までに返してください。	期限を表す「〜までに」
L9	文9	A:何か借りましたか。B:はい、着物の本を借りました。／いいえ、何も借りませんでした。昨日、どこかへ行きましたか。B:はい、渋谷へ行きました。／いいえ、どこへも行きませんでした。A:財布は(どこかに)ありましたか。B:はい、うちにありました。／いいえ、どこにもありませんでした。	「何か」「どこかへ」「どこかに」が含まれる疑問文とその答え方
L10	文1	新宿で電車に乗ります。	移動の動詞とそれに伴う助詞
L10	文2	林さんは、今、電話をしています。	動作の進行を表す「〜ている」
L10	文3	コーヒーを飲みながら話しています。	2つの行為を同時に行う「〜ながら」
L11	文1	横浜に住んでいます。	人の社会的な状態を表す「〜ている」
L11	文2	高校を卒業してから会社に勤めています。	行為の順序を表す「〜てから」

L11 文3	日本へファッションの勉強をしに来ました。	目的を表す「～に行く／来る」
L11 文4	ファッショショーに行きます。	「行く」の目的を表す助詞「に」
L11 文5	友達とファッショショーに行きます。	いっしょに動作をする相手を表す助詞「と」
L11 文6	デザインの勉強をしたいです。	自分の希望、願望を述べる「～たい」
L11 文7	A: もう学校を決めましたか。 B: はい、もう決めました。／いいえ、まだ決めていません。	行為が完了したかどうかを尋ねる表現とその答え方
L12 文1	フライパンで牛丼を作ります。	道具や手段を表す助詞「で」
L12 文2	たまねぎを薄く切ります。自由に使ってください。	形容詞の副詞的用法
L12 文3	基本体 動詞(現在)	動詞の基本体・現在
L12 文4	固くなります。	形容詞と名詞を用いた変化の表現
L12 文5	薄切りの牛肉を長く煮ると、固くなります。	条件を表す「～と」
L13 文1	私は日本語学校で勉強している学生です。	名詞修飾1
L13 文2	基本体 い形容詞・な形容詞・名詞(現在)	い形容詞、な形容詞、名詞の基本体・現在
L13 文3	友達ができましたから、楽しいです。	理由を述べる「～から」
L13 文4	A: どうしてですか。 B: レポートが多いからです。	理由を尋ねる表現とその答え方
L13 文5	暇な時は、何をしますか。	どんな時かを限定して言う表現
L13 文6	A: この学校の施設をどう思いますか。 B: 図書館や食堂が新しいからいいと思います。	相手に意見を聞く表現と自分の意見を述べる表現
L14 文1	基本体(過去)	動詞、い形容詞、な形容詞、名詞の基本体・過去
L14 文2	休憩時間が短かったので、私はバスを降りなかった。	理由を述べる「～ので」
L14 文3	魚は食べにくかった。	何かをすることが難しいという表現「～にくい」と、何かをすることが簡単だという表現「～やすい」
L14 文4	花のスケッチをしたり、植物園の人いろいろな質問したりした。	いろいろな行為の中からいくつかを取り上げて述べる「～たり、～たりする」
L15 文1	A: 中野と新中野とどちらのほうが近いですか。 B: 中野のほうが(新中野より)近いです。	2つのものを比較して尋ねる表現とその答え方
L15 文2	A: 中野と新中野とどちらのほうがにぎやかですか。 B: 中野のほうがずっとにぎやかです。	2つのものを比較し、その差を表す表現
L15 文3	A: 中野と新中野とどちらのほうが近いですか。 B: どちらも同じくらいです。	程度が同じであることを表す表現
L15 文4	このアパートは駅から遠すぎます。	物事が度を越していることを表す「～すぎる」
L15 文5	A: 中野と三鷹と池袋の部屋の中で、どれがいちばん静かですか。 B: 中野の部屋が いちばん静かです。	3つ以上のものを比較して尋ねる表現とその答え方
L15 文6	この部屋は台所が広いです。	主題を示し、そのある部分について説明する時に使う「～は～が」
L15 文7	この部屋は三鷹の部屋より駅から近いです。	あるものについて、ほかのものと比較して述べる表現「～は～より」
L15 文8	この部屋はみつつの部屋の中でいちばん新しいです。	あるものについて、ほかのもの(2つ以上)と比較して述べる表現「～は～の中でいちばん～」
L16 文1	ひざを打ったんです。	説明、理由、確認、強調などの心情を込めて述べる表現「～んです」
L16 文2	A: まだ痛いですか B: はい、まだ痛いですが。いいえ、もう痛くありません。	動作や状態が続いているかどうか尋ねる表現と その答え方
L16 文3	もう少しかかるかもしれません。	ある事柄が起こる可能性があることを述べる「～かもしれない」
L16 文4	激しい運動をしないでください。	禁止したり、あることをしないように指示する表現「～しないでください」
L16 文5	治るまで、激しい運動をしないでください。	継続している動作や状態の終了時点を表す「～まで」

L16 文6	わからないことではありませんか。	形式名詞「こと」
L16 文7	饅頭に、はりかえてください。 ごはんを食べた後(で)、飲んでください。	ある動作をいつ行うか指定する表現「～前に」「～後(で)」
L17 文1	ピアノが弾けます。	可能形
L17 文2	中国人で日本語が話せる方は、お電話ください。	名詞修飾2
L17 文3	A: 演義の仕事をしたことがありますか。 B: はい、あります。/ いいえ、ありません。	経験の有無について述べる表現「～たことがある」
L17 文4	学校が忙しくてあまり行きません。	理由を表す「～で」1
L17 文5	A: 1週間ほどのぐらいい来られますか。 B: 3日ぐらいです。	頻度や割合を表す表現
L17 文6	アルバイトの方も使うことができます。 ここでたばこを吸うことはできません。	可能の意味を表す「～ことができる」
L18 文1	A: ドライブに行きませんか。B: いいですね。	相手を誘ったり、相手に何かを勧めたりする表現「～ませんか」
L18 文2	新しい車を買ったんですが、ドライブに行きませんか。	前置きの表現「～んですが」
L18 文3	A: どこ行きましょうか。B: 良さんの好きな所へ行きましょう。	いつしよにすることを相談したり、いつしよにするように促したりする表現「～ましようか」と「～ましよう」
L18 文4	天気予報によると明日は晴れそうです。	伝聞の表現「～そうだ」
L18 文5	A: 明日は暑いでしょうか。B: たぶん暑いだろうと思います。	予想や推測を尋ねる表現とその答え方
L18 文6	弟は野球を見に行くと言っていました。	伝聞の表現「～と言っていた」
L19 文1	(このゼーパン)をはいてみます。	何かを試すことを表す「～でみる」
L19 文2	少し短くしてください。	物や人に働きかけてある状態にすることを表す「形容詞＋する」
L19 文3	子供がいなくなっちゃいました。	ある出来事について、困った、残念だという気持ちを込めて述べる表現「～てしまう」
L19 文4	(1)私が試着している間、ここで待っていてください。 (2)私が試着している間に、いなくなっちゃったんです。	動作や状態が継続する時間の範囲を表す「～間」 何かが行われる時点が存在する時間の範囲を表す「～間に」
L19 文5	赤いTシャツを着ています。	服装を表す「～ている」
L19 文6	ここまっすぐ行くと、エスカレーターがございます。	道順の説明をする時に使う「～と」
L20 文1	経営学の勉強をしようと思っています。	自分の意志を表す表現「意志形＋と思っている」
L20 文2	東都大学を受けるともりです。	自分の意志を表す表現「～つもりだ」
L20 文3	観光の勉強をするために、専門学校に行きます。	行為の目的を表す「～ために」
L20 文4	進学説明会に行けば、いろいろな学校の先生と話せます。	条件を表す「～ば」1(前件が成立すれば後件が成立する)
L20 文5	A: 良さんの電話番号を知っていますか。 B: はい、知っています。/ いいえ、知りません。	動詞「知る」
L20 文6	ふじ観光専門学校という学校を知っていますか。	相手が知らないと思われる物や場所の名前を言う時に使う表現
L20 文7	実技試験を受けなくてはいけません。	何かをする必要や義務があることを表す「～なくてはいけない」
L20 文8	どんな問題が出たかわかりません。面接試験があるかどうかわかりません。	疑問文の埋め込み表現「疑問詞～か」「～かどうか」
L21 文1	ホストファミリーに会ったら、笑顔であいさつしましょう。	確定条件の「～たら」
L21 文2	靴を脱がないでうちに上がってはいけません。	後件の動作の付帯状況を表す「～ないで」
L21 文3	家族と積極的に話したほうがいいです。	アドバイス表現「～ほうがいい」
L21 文4	嫌いな物は無理に食べなくていいです。	何かを無理にする必要はないということを表す「～なくていい」
L21 文5	これはお父さんが作ったトマトです。	名詞修飾3

L21	文6	少ししかとれません。	程度が低い、あるいは数量が少ないことを強調する表現「～しか～ない」
L22	文1	涼しそうです。涼しくなさそうです。簡単そうです。／ではなさそうです。	物や事柄の外見からの印象を述べる「形容詞＋そうだ」
L22	文2	雨が降りそうです。	動きや変化の兆候を外見から判断して述べる「動詞＋そうだ」
L22	文3	前からあんなのがほしいと思っていました。	ある物を手に入れたという自分の願望を述べる「ほしい」
L22	文4	私はファンさんにプレゼントをあげます。	授受表現「あげる」
L22	文5	私は友達にコーヒーカップをもらいました。	授受表現「もらう」
L22	文6	ファンさんはネックレスをほしがっていました。ファンさんは生け花を習っていました。	第三者の願望を述べる「ほしがる」「～たがる」
L22	文7	買ったんじゃないやなくて、もらったんです。	相手の誤解などを訂正する表現「～んじゃないやなくて～んです」
L23	文1	電子書籍が増えました。	過去から現在までの一定方向への継続的な変化を表す「～てきた」
L23	文2	たくさんの方が電子書籍を読むようになりました。	動詞を用いた変化の表現「～ようになる」
L23	文3	前はよ紙の本を読みました。最近では読まなくなりました。	動詞を用いた変化の表現「～なくなる」
L23	文4	紙の本は、デザインがきれいだし、大ききもいろいろあるし、見るのが楽しいです。	いくつか理由を並べて、最後に評価・判断などを言う「～し、～し、～」
L24	文1	親しい友達との会話 1	インフォーマルな表現(男女共通1)
L24	文2	親しい友達との会話 2	インフォーマルな表現(男女で違うもの)
L24	文3	親しい友達との会話 3	インフォーマルな表現(男女共通2)
L24	文4	友達が私に映画の招待券をくれました。	授受表現「くれる」
L24	文5	行きたいけど、土曜日はアルバイトがあるの。	逆接および前置きの表現「～けど」
L25		自動詞と他動詞	自動詞と他動詞
L25	文1	(ボタンを)押し出さないんです。	逆接条件「～ても」
L26	文1	壁が汚れています。	動作や作用の結果の状態を表す「自動詞＋ている」
L26	文2	郵便局に転居届を出しておきます。	後のことを考慮して準備する行為を表す「～ておく」
L26	文3	後ですぐわかるように、中に入れた物の名前を書いておきます。	目的を表す「～ように」
L26	文4	中身を入れたまま運ぶと危ないです。	ある動作の結果の状態が変化しないうで続けていることを表す「～たまま」
L27	文1	どちらでもいいです。	すべての場合を肯定する表現「疑問詞＋でもいい」
L27	文2	間に合わなければ来月にしましょう。	条件を表す「～ば」2 (前件である事柄を仮定し、後件で話者の判断などを述べる)
L27	文3	ちょうど今、受付が始まるそうです。	動作や行為などをすすする直前の状態を表す「～(る)ところ」
L27	文4	座れそうです。座れそうにありません。	能力や状況から判断して、あることが実現できるかどうかを述べる「動詞(可能形)＋そうだ／そうにない」
L27	文5	もう読んでしまいました。	動作が完了したことを表す「～てしまう」
L28	文1	マリーさんが(私に)英語を教えてくださいました。	行為の授受を表す「～てくれる」
L28	文2	良子さんのうちへ行く時、ケーキを買いました。良子さんのうちへ行った時、片付けを手伝いました。	ある動作が完了する前であることを表す「～る時」 ある動作が完了した後であることを表す「～た時」
L28	文3	(私は)武さんに引越を手伝ってもらいました。	行為の授受を表す「～てもらおう」
L28	文4	(私は)武さんにおいしい物をごちそうしてあげます。	行為の授受を表す「～てあげる」
L28	文5	良子：明日、銀河亭で待ち合わせしましょう。武：その店はどこにあるの？ 良子：明日、新恒の東口で待ち合わせしましょう。武：あそこは人が多すぎるから、別の所にしようよ。	会話における文脈指示の「そ」「あ」
L29	文1	今、終わったところです。	動作や行為などをした直後の状態を表す「～たところ」
L29	文2	入院したと聞いて心配しました。最近、夜寝られなくて困っています。	理由を表す「～て」2

L29	文3	西田先生が(私に)花をくださいました。(私は)西田先生に花をいただきました。	相手が目上の人の時に使う授受表現「くださる」「いただく」
L29	文4	先生の奥さんが洗濯をしてくださいました。先生の奥さんに洗濯をしていただきました	相手が目上の人の時に使う授受表現「~てくださる」「~ていただく」
L29	文5	いろいろな人と日本語で話すようにしています	努力していること、心がけていることを述べる表現「~ようにしている」
L30	文1	タイへいらっしゃいますか。	尊敬語
L30	文2	お待ちください。	「~てください」の丁寧な表現「お~ください」
L30	文3	お借ります。	謙譲語
L30	文4	ナプキンを取っていただけませんか。	丁寧な依頼の表現「~していただけませんか」
L31	文1	最近、忙しいようです。/みたいです。	今ある状況を根拠にして、話し手の主観的な判断を述べる表現「~ようだ/みたいです」
L31	文2	お祭りを見に行くことにしました。	あることを決めたことを表す表現「~ことにする」
L31	文3	せっかく誘ってもらったのに、行けませんでした。	前件から期待・予想されることに反する結果や事実などを後件で表す「~のに」
L31	文4	駅に着いたら、もう人がおおいいました。	予想外の事柄を発見した時点を表す「~たら」
L31	文5	後ろの人に押されました。	受身形1(迷惑の感情を伴うもの)
L32	文1	インスタントラーメンは1988年に日本で初めて作られました。	受身形2(感情を伴わない、物などが主語のもの)
L32	文2	歌手のようです。/みたいです。紙のように/みたいに薄いです。	比喩の表現「~ようだ/みたいです」
L32	文3	カップの検査をしているところです。	動作や行為などが進行中であることを表す「~ているところ」
L33	文1	毎日練習ばかりしていました。	同じことを何度も繰り返すことを表す取り立ての「~ばかり」
L33	文2	広美に家の手伝いをさせました。	使役形
L33	文3	就職したらどうですか。	相手の状況に応じて、提案する時に使う表現「~たらどうですか」
L34	文1	新入生は先輩にいろいろなことをさせられます。	使役受身形
L34	文2	クラブに入るなら、見学してから決めたいと思います。	仮定条件の「~なら」
L34	文3	冷やしてあります。	準備が整った状態であることを表す「~である」